

あいづわかまつ 暮らし

会津若松市 移住ガイドブック

会津若松市への移住・二地域居住に関するご相談は

会津若松市の相談窓口

会津若松市定住・二地域居住推進協議会 (会津若松市役所地域づくり課内)
電話：0242-39-1202
住所：〒965-8601 福島県会津若松市東栄町 3-46
Mail：shinko@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp

首都圏の相談窓口

福が満開、福しま暮らし情報センター (認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センター内)
電話：03-6551-2989
住所：〒100-0006 東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館 8 階
Mail：fukushima@furusatokaiki.net

イベント、体験ツアーなどの開催は
移住支援 web サイトや Facebook をチェック！

<http://aizuwakamatsu-iju.jp/>

来てみらんしょ | 検索

web



Facebook

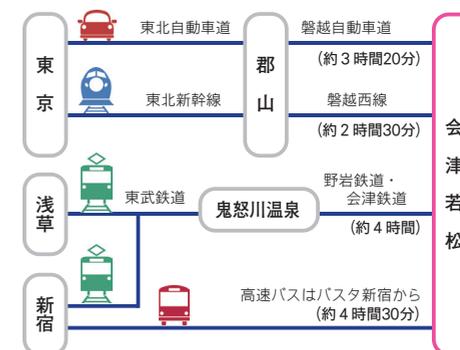


歴史も、自然も、快適さも。 会津地方の中心都市でかなえる新しい暮らし。

東京からわずか3～4時間、福島県の西部・会津盆地の東南に位置する会津若松市は、豊かな自然と歴史に恵まれた城下町です。会津地方の中心部として都市機能を備える一方、すぐそこには手つかずの大自然や素朴な里山、田園風景が広がっています。そんないいとこどりの街だからこそ、ライフスタイルは無限大。会津若松市であならしい暮らしを見つけてみませんか。



東京からのアクセス



もくじ

- 会津若松をさくっと紹介・・・ 4
- 先輩移住者エピソード・・・ 6
- 会津若松を楽しむ・・・ 8
- 会津若松の暮らし・・・ 12
- 仕事・住まい探し・・・ 16
- 移住体験・・・ 18

会津若松をさくっと紹介します。

会津若松市は磐梯山をはじめとする雄大な山々にぐるっと囲まれています。市内は大きく分けて市街地、農村部、山間部の3つのエリアがあり、理想のライフスタイルにあわせた暮らしが実現できます。



田舎以上都会未満。住みやすさが人気。

街なかエリア

会津若松市のシンボル・鶴ヶ城を中心に広がる市街地エリア。史跡が点在する趣ある城下町のほか、新しい戸建てやアパートが今なお増加している地域があります。



市街地近くで田舎らしさを気軽に。

田園エリア

米どころとして知られる会津らしい風景が魅力の田園地帯。市街地からほど近く、車があれば買い物に困ることはありません。農家以外の方も多く暮らしています。



自然と共存。山あいで四季を楽しむ。

山里エリア

四季の移ろいをダイレクトに体感できる山間エリア。なだらかな平地が続く市街地よりも標高が高いため気温が低く積雪量が多めです。除雪用具など冬の備えは不可欠。



先輩移住者エピソード



東京からのUターンでも 新しい楽しみがたくさんある。

渡部 充さん

出身地：福島県会津坂下町
以前のお住まい：東京都
移住した時期：2017年
職業：web制作

Q. 会津若松市への移住のきっかけは？

独身のときは地元に戻ることは全く考えていませんでしたが、結婚してから少しずつ気持ちが変わりました。子どものこと、家庭のこと、仕事のことなどいろいろ踏まえて、子どもが小学校に入学するタイミングでUターンしました。

Q. 移住にあたり苦労したことは？

東京に住みながらこちらに家を建てたので、土地探しから家の設計、施工まで、やるのがいっぱい大変でした。子どもが通う学校のことや、雪国の家の設備のことなど、妻が入念に調べてくれたので、土地決めや家の設計の際にとっても助かりました。

Q. 移住後の生活の変化は？

移住後も東京のweb制作会社に籍をおいたままリモートワークをしています。職場が自宅になったので、家族と過ごす時間が格段に増えました。今では在宅勤務のコツがつかめてきて、仕事とプライベートのバランスがと

れるようになってきました。それから、新選組が好きな妻（東京生まれ・東京育ち）の影響で会津の歴史にくわしくなりました。一緒に城下町を散歩していると、街なかにある史跡を妻が教えてくれるんです。

Q. これからどのように暮らしたい？

東京で長く暮らしてから戻ってきたので、昔は気づかなかったものに気づくことが多いです。美しい自然や自分が楽しいと感じることが想像以上にありました。これからもどんどん新しいことを見つけていきたいと思います。

移住を考えている方へのメッセージ

会津に限ったことではないですが、新しい土地で新しい暮らしを楽しむには、自分から動いていくことが大切だと思います。会津にはお酒や郷土料理などのグルメ、歴史、ITなど、さまざまな分野で楽しめるスポットやイベントがたくさんあります。難しく考えず、まずはいろいろなところに足を運んで会津を楽しんでみてください！



東北の雪山に憧れて 縁もゆかりもない会津に。

渡守 美穂さん

出身地：徳島県（大阪育ち）
以前のお住まい：徳島県
移住した時期：2019年11月
職業：言語聴覚士

Q. 会津若松市への移住のきっかけは？

山登りが趣味で、東北の雪山に憧れを抱いていたからです。関西から気軽に行けないので、それなら住んでしまおうと思いました。会津若松市のことは福島県の移住支援センター（東京・有楽町）で知りました。お城がある観光地ということ、市の中心部は雪がさほど降らないというのが決め手でした。

Q. 移住にあたり苦労したことは？

住居探しです。市の移住担当職員の方より複数の不動産屋から物件情報を取り寄せていただきましたが、不動産屋と休みが合わず、なかなか連絡が取れませんでした。とはいえ、現地を訪れてから、あれよあれよという間に話が決まり移住してきました。移住担当職員さんが仕事探しのお手伝いもしてくれたので助かりました。

Q. 移住後の生活の変化は？

以前よりも季節を意識して暮らすようになりました。行きたいところがたくさんあるので、

夏は南会津など雪が多いエリアへ出かけて、冬は近隣で楽しめるようにしています。初めてスノータイヤを購入しましたが、市内なら冬の運転も大丈夫そうです。

Q. これからどのように暮らしたい？

今の職場はいろいろと勉強ができるので、知識と経験を積みながら、山へ行ったり、お酒を飲んだり、趣味を楽しみながら知り合いを増やしていきたいです。

移住を考えている方へのメッセージ

会津地方には会津人の気質を表す「会津の三泣ぎ」という言葉がありますが、最初から受け入れてくれる方が多くて、ほっこりした生活を送っています。周囲には素晴らしい山々があり、アウトドアが好きな人には便利な場所だと思います。それから、会津のお酒はめちゃめちゃおいしいですよ。

※会津の三泣ぎ…会津に来たときは閉鎖的な人間関係や自然の厳しさに泣かされ、馴染んでくると人情の深さに泣かされ、会津を離れていくとき人情が忘れがたく、会津から離れがたく泣く。（諸説あり）

移住者の声から
暮らしをイメージ!

会津の日常をあそぼう。

全国屈指の観光地でもある会津では自然や歴史、グルメ、温泉など年間通して楽しみがいっぱいです。

自然

磐梯山をはじめとするダイナミックな自然に囲まれ、四季がはっきりしている会津。気軽にシーズンスポーツやレジャーなどが楽しめ、日帰りで会津地方のどこへでも遊びに行けます。



海はないけれど猪苗代湖で湖水浴ができます。中心市街地から30分程度というアクセスの良さも魅力。



猪苗代湖(会津若松市・猪苗代町ほか)

日本で3番目の大きさを誇る淡水湖。湖水浴、ジェットスキー、キャンプ、バーベキューなどアクティビティの宝庫です。



山に囲まれた環境なので山好きにはたまりません! 磐梯山、会津駒ヶ岳、飯豊山、西吾妻山、燧ヶ岳といった日本百名山にも気軽に挑戦できます。



尾瀬国立公園(檜枝岐村)

福島・新潟・群馬にまたがる山岳湿地。7月中旬頃、山吹色のニッコウキスゲが咲きそります。



塔のへつり(下郷町)

塔のような奇岩が連なる景勝地。崖壁沿いを散策でき、初夏は藤の花、秋は紅葉も楽しめます。



宮川千本桜(会津美里町)

4月中旬～下旬頃、残雪の磐梯山を背景に、ソメイヨシノが咲き誇る人気のビュースポット。



スキー場(会津地方各地)

市中心部から車で1～2時間でゲレンデへ。仕事帰りにナイター利用でひと滑りできます。

食

滋味あふれる郷土料理から一度食べたらくせになるご当地グルメまで、多彩な味わいがそろう。住宅街や山の中にある隠れた名店も多いので、あちこち探すと楽しみも。

ラーメン屋さんが多い会津では朝ラーメン文化があります。肌寒い季節の朝に味わうあっさり系中華そばは格別!



ラーメン

スープによく絡む縮れ太麺が特徴。味の基本はあっさり系の醤油味。



ソースカツ丼

揚げたてのトンカツに濃厚ソースをからめたご当地丼ぶり。



馬刺し

日本三大馬肉のひとつといわれる会津馬肉。辛子味噌で食すのが会津流。



地酒

食通をうならせる会津の地酒。市内の酒蔵では利き酒や見学も。



まんじゅうの天ぷら

強清水茶屋街の名物。天ぷらにすると餡の甘さが増します。



こづゆ

冠婚葬祭に欠かせない郷土料理。出汁にホタテの干貝柱を使った具だくさんの汁物です。

フレッシュ野菜・果物がずらり! 「農産物直売所」

激しい寒暖差と厳しい気候風土、肥沃な大地に恵まれた会津地域には旨味がぎゅっと詰まった良質な野菜やフルーツがいっぱい! 市内各地には朝から賑わう農産物直売所が点在しており、会津の伝統野菜や朝採り高原野菜、オーガニック野菜などが入手できます。



歴史・文化

激動の幕末期の舞台となった会津。当時の面影を残す史跡や建造物、匠の技と心意気を受け継ぐ伝統工芸品など日常に歴史浪漫があふれています。



街をふらりと歩けば史跡や歴史的建造物に出会えます。歴史好きにとっては街中がまるで屋外博物館！



鶴ヶ城

1965年に再建された五層の天守閣・鶴ヶ城。戊辰戦争では約1か月続いた攻防戦に耐え、難攻不落の名城として知られています。敷地内は鶴ヶ城公園として市民の憩いの場にもなっており、春には約1,000本の桜が咲き乱れます。

レトロな雰囲気の七日町周辺が気に入る！グルメも味わえるほか、会津木綿や漆器など伝統工芸品を見るのも楽しみのひとつ。



七日町通り



かつて西の玄関口として栄えた街道。鶴ヶ城からほど近くに位置します。趣ある蔵や洋館などノスタルジックな建造物が軒を連ねる観光客に人気の通りです。



御薬園

薬草栽培も行われていた領主・藩主の別荘。現在も約400種類の薬草が植えられています。

ゆっくりじっくり巡礼したい「会津三十三観音めぐり」

会津藩主・保科正之公によって制定されたとされる「会津三十三観音めぐり」。東北地方でいち早く仏教文化が開花した会津地方には平安時代などにつくられた歴史ある寺院や仏像が多数あります。周辺観光とあわせて巡礼するのが地元民に人気。



温泉

市内には観光客で賑わう東山温泉、芦ノ牧温泉があり、ほとんどの宿で日帰り入浴が可能。散策や足湯も楽しめるほか、お祝い事や同窓会など皆で集まる場としても利用されています。



写真：原瀧

東山温泉

市中心部から車で約10分、新選組の土方歳三が傷を癒したという逸話が残る開湯約1300年の歴史ある温泉。



会津地方にはあちこちに温泉があり、効能・におい・色のバリエーションが豊富。どこに行こうか迷ってしまうほどです。登山帰りにふらりと立ち寄れるのがうれしい！



写真：丸峰観光ホテル

芦ノ牧温泉

市中心部から車で約25分、渓谷沿いに広がる湯量豊富な温泉郷。江戸時代から湯治場として親しまれています。

祭り

脈々と受け継がれてきた伝統行事から市民も観光客も一緒に盛り上がるイベントまで、年間通して特色あるお祭りがいっぱい！季節の移ろいや会津文化にどっぷり浸れます。



十日市(1月)
400年以上の伝統を誇る初市。



会津絵ろうそくまつり(2月)
幻想的な灯りに包まれる冬の風物詩。



会津彼岸獅子(3月)
市内各所で獅子が舞う伝統行事。

全国的に有名な民謡「会津磐梯山」が流れる夏の盆踊りは田舎の夏休み感たっぷり！



東山盆踊り(8月)
温泉街で開催の風情ある盆踊り。



会津まつり(9月)
藩公行列など多彩な催しが目白押し。

会津若松の暮らしほんとのところ。

面積

382.99 km²

人口

119,477人

世帯数

50,209世帯

※2020年1月1日現在

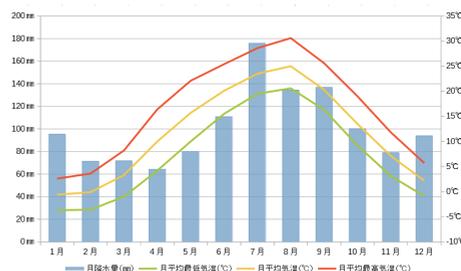
気候

内陸盆地特有の気候のため、寒暖差が激しく四季がはっきりしているのが特徴。夏は蒸し暑く、冬は日本海側気候の影響を受け積雪があります。

朝晩が涼しいので真夏日でも過ごしやすい！
大雨や台風の影響が少ないのもうれしい。



会津若松市の月別平均気温と降水量



※平年値は1981～2010年までの30年間の平均
※参考：気象庁ホームページをもとにグラフ化

Q 雪の期間や準備は？

およそ12月～3月まで積雪があり、主要道路の除雪は24時間体制で行われています。近年、雪がほとんど降らない暖かい冬を過ごすことが多くなっていますが、突然大雪になることもあるため冬の備えは必須。雪が降る前にすべらない冬用シューズや雪かき用具を準備し、車のワイパー、タイヤを交換しておきましょう。



買い物

地域密着型の商店街のほか、スーパーやコンビニ、ドラッグストア、衣料・雑貨店、家電量販店など多数あり、基本的な生活必需品は市内でそろいます。



公共交通機関

会津若松駅を起点とする鉄道があるほか、複数の路線バスが市内を循環し、通勤・通学などで利用されています。中心市街地では自転車で移動する市民も多くみられます。



Q 車は必要？

買い物に困らない街なかなど、場所によっては車なしで生活することは可能ですが、会津若松は基本的に車社会。自家用車は必須といってもいいでしょう。街なかを離れた一部の地域ではバスの路線が行き届いておらず、本数が少ないのが現状です。

医療・福祉

会津地方の中心都市として医療施設が充実しています。ドクターヘリ所有の大型総合病院や夜間・休日に対応してくれる救急医療センターのほか、多数の介護福祉施設もあります。

総合病院	一般病院 診療所	歯科診療所
3	100以上	50以上



人柄

シャイで口数が少ない会津の人は、とっつきにくいイメージをもちたれがちですが、情が深く、面が見がいい人が多い印象があります。昨今では市外、県外からの移住者が増えつつあり、以前よりも考え方や人付き合いはオープンになり、多様化しているようです。

地名でひも解く会津の歴史

『古事記』には「会津」ではなく「相津」と記されています。崇神天皇の時代、諸国平定の任務を終え、越後からやってきた大毘古命と常陸からやってきた建沼河別命が出会った場所を「相津」と呼ぶようになったというのが地名の由来です（諸説あり）。会津では人との出会いや縁を尊ぶ文化が根付いています。

子育て

学童保育や医療支援など各種サポートが充実しており安心して子育てできます。県立の中高一貫校や公立大学もあります。



保育所・幼稚園等		小学校		中学校		高校	
総数	38	総数	20	総数	13	総数	9
		私立	1	私立	1	私立	3

心と身体を育む こどもの遊び場

街なかの公園をはじめ、親子で遊べる施設や自然の遊び場が多数あります。



会津総合運動公園

芝生の広場や遊具、小川がある「わんぱく広場」のほか、体育館や陸上競技場などがあり、各種大会も開催されています。

生涯学習総合センター 会津稽古堂 図書館

絵本や紙芝居、DVDが並ぶ「こどもとしょかん」では読み聞かせできる親子ブースなどもあります。



歴史と伝統が息づく青少年健全育成の取り組み

会津の伝統的な規範意識を踏まえながら、未来を担う青少年への熱い想いを込めて策定された「あいづっこ宣言」を市民共通の行動指針として、青少年の健全育成に力を注いでいます。



地元大学で世界レベルの技術を習得

市内にはコンピュータ理工学専門の公立大学「会津大学」があります。恵まれたコンピュータ環境で高度なICT（情報通信技術）を身につけ、世界で活躍できる人材を輩出しています。短期大学部では産業情報学科や食物栄養学科、幼児教育学科が設置されています。



会津若松市は地域ぐるみで子育てをサポートします！

医療費が無料

こども医療費助成

0～18歳（高校卒業時）までのこどもを対象に医療費が無料です。（保険適用外は除く）

共働きでも安心

こどもクラブ

保護者の仕事などが理由で家庭で保育ができない小学生のための放課後児童クラブ事業。市内に23カ所あり、指導員のもと遊びを中心にさまざまな活動をしています。

子育て中の不安を解決

子育て支援センター

子育て中のすべての家庭を対象にした子育て支援施設。市内26カ所の保育園や認定こども園に併設されており、育児アドバイス、園庭開放、保護者同士の交流の場の提供などを行っています。

すべての市立小中学校で実施

完全給食

市立の小・中学校で完全給食が実施されています。地元産食材の活用やテーマ給食の取り組みにより、安心・安全かつ栄養バランスを考慮したおいしい給食を提供しています。

会津若松で働く

就業したい

会津若松市人財バンク

求人情報の提供や就業マッチングをはじめ合同就職面接会、企業説明会の開催のご案内をしています。

☎会津若松市商工課

☎ 0242-39-1252

ハローワーク

求人情報、職業訓練の情報提供のほか、就職活動のお悩みなどにも対応しています。

☎会津若松市公共職業安定所

☎ 0242-26-3333

高齢者就業支援

60歳以上の方の求人情報を提供しています。健康的で生きがいのある生活の実現をお手伝いします。

☎会津若松市シルバー人材センター

☎ 0242-26-1818

起業したい

創業・起業支援

創業・起業に関するセミナーの開催、個別相談のほか、補助金などのご案内も行っています。

☎会津若松市商工課 ☎ 0242-39-1252

☎会津若松商工会議所中小企業相談所

☎ 0242-27-1212

移住支援金

東京23区（在住者または通勤者）から会津若松市へ移住し、福島県運営の就職マッチングサイト「Fターンサイト」掲載の対象法人に就業した方へ移住支援金を支給する制度。なお、起業した場合でも支給対象となる場合があります。

☎会津若松市地域づくり課 ☎ 0242-39-1202

就農したい

新規就農者支援センター

農業の相談から経営まで一貫してサポートしています。理想とする経営作物に合った先進農家への技術研修および農地・空き家の斡旋、各種資金制度の提供などを行っています。

☎会津若松市農政課 ☎ 0242-39-1253



会津若松に住む

家を買う

空き家バンクを活用する

不動産業者団体と連携して市内の空き家物件（売買または賃貸）を紹介しています。理想の物件が見つかったら不動産業者または空き家所有者と直接交渉および契約となります。

☎会津若松市地域づくり課

☎ 0242-39-1202



空き家等改修支援

市外からの移住者をはじめ、地域活性化に向けて空き家などを活用する方を対象に改修費用の一部を補助します。

☎会津若松市危機管理課

☎ 0242-39-1227

福島県空き家・ふるさと復興支援

福島県外からの移住者が空き家を改修し自ら住む場合、改修費用の一部に対して補助金を交付します。

☎福島県 会津若松建設事務所

☎ 0242-29-5461

賃貸物件をさがす

初期費用の負担が少ない賃貸でアパート暮らしをするのもおすすめです。移住してから、ゆっくり空き家探しをすることもできます。

中心市街地の家賃目安（一例）

1R、1K 3～5万円
2LDK、3LDK 5～7万円

住まい探しの
注意点

車中心の地方では駅前だけが便利とは限りません。会津若松では駅から離れた大通りに商業施設、飲食店が集まっています。また、冬対策のことも忘れてはいけません。雪が降ると駐車場や自家用車の雪かきが必要です。都会とは違う目線でしっかり現地確認を。

まずは気軽に 移住体験

移住体験ツアー

「会津若松のことをもっと知りたい!」、「会津若松に住んでみたい。でも、少し不安が…」と感じている方などを対象に会津若松の暮らしを体験できる「暮らし体験ツアー」を定期的に開催しています。くわしくは、本パンフレット裏表紙掲載の移住支援 web サイトまたは Facebook にてご確認ください。



ワーキングホリデー（農業体験）

農業をやってみたい方におすすめの体験メニュー。農家さんと作業を手伝い、農家さんが作業料金の代わりに食事と宿泊を提供します。汗を流して農作業し、作物を育てる喜びを味わいませんか。

☎会津若松市 農政課 ☎ 0242-39-1253

3種の補助金併用可!

宿泊費

会津地域移住希望者 応援補助金

福島県外から会津地方（対象エリア：本市含む13市町村）への移住希望者が現地見学を行う場合、宿泊費の一部を補助します。※宿泊費の1/2以内・上限1泊2,500円・2泊まで

☎福島県会津地方振興局
☎ 0242-29-5292

宿泊費

会津若松市移住希望者 宿泊費補助金

本市への移住希望者が現地見学のために市内に滞在する際の宿泊費の一部を補助します。※宿泊費の1/2以内・上限1泊2,500円・2泊まで

☎会津若松市地域づくり課
☎ 0242-39-1202

サテライトオフィス

首都圏などから会津若松市への移転を検討しているなど一定条件を満たす企業を対象に、サテライトオフィスをご用意しています。いずれも1社または数社でシェアする形態で、間取り、設備などそれぞれ異なります。



行仁町サテライトオフィス



市長公舎サテライトオフィス

☎会津若松市企画調整課 ☎ 0242-39-1201

コワーキングスペースもあります。

街なかを中心に無料Wi-Fi、コンセントが使用できる飲食店や施設、会員制のコワーキングスペースがあります。情報収集、交流の場となることもあるので、新しい出会いやビジネスチャンスにつながるかもしれません。



移住希望者向けの宿泊費・交通費の補助

※2020年10月1日現在の情報です。
※要件が適用になるか必ず事前にご確認ください。

交通費

ふくしま移住希望者支援 交通費補助金

福島県内への移住にあたって必要な現地活動を行った場合に交通費の一部を補助します。※補助額（定額）は現住所により異なります（例：東京都8,000円）

☎福島県 東京事務所（移住推進員あて）
☎ 03-5212-9050

移住者コミュニティで仲間を。

移住者ネットワーク

あいゆう
愛友あいづネット

会津若松市に移住、二地域居住している方のネットワーク「愛友あいづネット」は、イベント参加など移住者同士が交流するサークルです。先輩移住者の生の声を聞けるので、これから移住する方にとって心強い味方です。